

simc News Letter

Sendai International Music Competition

2018年3月号

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第7回仙台国際音楽コンクール【開催日程】ピアノ部門:2019.5.25(土)~6.9(日) ヴァイオリン部門:2019.6.15(土)~6.30(日)

第7回仙台国際音楽コンクールヴァイオリン部門課題曲解説 山田 治生(音楽評論家)



第7回仙台国際音楽コンクールのヴァイオリン部門では、予選、セミファイナル、ファイナルを通じて、バロックから古典、ロマン派、近現代作品までの作品が課せられる(最も古い作品は1720年頃に書かれたバッハの協奏曲であり、最も新しい作品は1939年に初演されたバルトークのヴァイオリン協奏曲第2番)。従って、出場者は、200年以上にわたるヴァイオリン作品のそれぞれの時代様式に合った演奏を問われることになる。

予選のバッハのヴァイオリン協奏曲第1番または第2番では、バロック音楽をどう演奏するのが課題となる。近年ますます広がりつつある古楽的なアプローチをどのように取り入れるかも重要なポイントとなるであろう。また、バッハの協奏曲では、指揮者無しなので、自らオーケストラをリードしなければならない。ヴァイオリンの技巧だけでなく、音楽的リーダーとしての資質も試される。

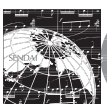
イザイの無伴奏ヴァイオリン・ソナタは、彼の晩年の作品。1923年、若きヨーゼフ・シゲティの弾くバッハの無伴奏ソナタの演奏にインスピレーションを受けたイザイが6曲一気に書き上げた。予選では、そのうち第3番、第5番、第6番のなかから1曲を選択して弾かなければならない。「バラード」のタイトルを持つ第3番と第6番は単一楽章の7分程度の曲。第5番は「オーロラ」と「田舎の踊り」という2つの楽章からなる10分程度の曲である。イザイ自身が19世紀後半から20世紀前半にかけての時代を代表するヴィルトゥオーゾの一人であっただけに、近代的なヴァイオリン奏法の粋が試される曲といえる。

セミファイナルでは、まず、20世紀前半に書かれたヴァイオリン協奏曲が課題となっている。ストラヴィンスキー、プロコフィエフ、バルトーク、まさに20世紀を代表する作曲家たちの傑作。ヴァイオリン独奏とオーケストラの絡みが、それよりも前の時代の協奏曲よりも複雑となり、オーケストラとの緻密なアンサンブルなしには演奏が成り立たない。

ストラヴィンスキーの協奏曲は、第6回仙台国際音楽コンクールの優勝者、チャン・ユジンがファイナルで弾いた曲なので、印象に残っている仙台的音楽ファンも多いであろう。バロック音楽の合奏協奏曲を20世紀に蘇らせたような擬古典的作品。オーケストラとの合奏能力も問われる。プロコフィエフの協奏曲第1番は、ヴァイオリンの抒情性が際立つ作品。どのようにヴァイオリンで歌うのか、演奏者の腕の見せどころである。第2楽章ヴィヴァーチッシモのスケルツォでは非常に速いパッセージを弾かなければならない。バルトークは、協奏曲第2番でハンガリーの民俗的な要素も踏まえながら、第1楽章で微分音(四分音)を用いるなどそれまでにない作曲技法を取り入れたりもした。

セミファイナルで、ブラームスの交響曲第1番第2楽章とR.シュトラウスの交響詩「ツァラトゥストラはこう語った」の指定箇所をコンサートマスターの席で演奏する(仙台フィルのコンサートマスターが隣に座る)ことがもう一つの課題となっているのも、とてもユニークである。どちらも、コンサートマスターがソロで大活躍する作品として有名。ブラームスの交響曲第1番ではホルンやオーボエとの室内乐的なアンサンブルも重要になるであろう。R.シュトラウスの豊かな管弦楽法で知られる「ツァラトゥストラはこう語った」では、オーケストラの楽器のすべての動きを理解していないと、コンサートマスターのソロはうまく弾けないに違いない。この作品の最大の見せ場は、独奏ヴァイオリンがワルツを踊る「舞踏の歌」で、かなりの技量が要求される。この2曲について、堀米ゆずり審査委員長は「大きなソロなので、ソロスティックに弾いてもらいたい」と述べていたが、ソリストとしての資質だけでなく、コンサートマスター(ひいてはオーケストラ・プレイヤー)としての資質も問われることになる。

ファイナルでは、まず、モーツァルトの5つの協奏曲のどれかを弾かなければならない。5つの協奏曲は、どれもモーツァルトが10代のときに書いた。その頃、モーツァルトはザルツブルクの宮廷オーケストラでコンサートマスターをしていたのであった。5つのなかで、第5番は、第3



■お問い合わせ先/公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: http://www.simc.jp/

楽章中間部のエキゾチックで荒々しい音楽ゆえに「トルコ風」のニックネームで親しまれている。

堀米委員長は、モーツァルト演奏について、かつてシャンドル・ヴェーグから教わったように、「グラツィオーソ（優美に）、リゾルト（きっぱりと）、カンタービレ（歌うように）」の3つの要素が大事だ、という。そして音楽の変化が速いゆえに、「モーツァルトは、思いがけない落とし穴があるから怖ろしい」とも述べる。やはり、古典派音楽としての演奏様式も問われるに違いない。

そして最後に、ベートーヴェンからシベリウスまでのヴァイオリニスト必須のレパートリーというべき有名協奏曲からの1曲が課せられている。なかでも1937年に蘇演されまだまだ演奏される機会の少ないシューマンの協奏曲が入っているのが仙台国際音楽コンクールらしい。というのも前回のセミファイナルで必須曲として課せられていたからである。オーケストラにとっても滅多に演奏することのないレパートリーであるが、前回、セミファイナルだけでも12回、同曲を演奏した仙台フィルなら、安心だ。ブルッフが有名な協奏曲第1番ではなく、「スコットランド幻想曲」が候補曲となっていることにも注目。ハーブが活躍する曲でもある。

若いヴァイオリニストの様々な才能を見出すために、課題曲を一つに限定せず、できる限り広い選択肢が用意されていることは、出場者にとっても、聴衆にとってもいいことである。ただし、それが可能なのは、ヴァイオリンの名手でもある百戦錬磨の高関健と経験豊富な仙台フィルがサポートするからであることはいうまでもない。



第7回仙台国際音楽コンクール ヴァイオリン部門概要

- ・開催期間：2019年6月15日（土）～6月30日（日）
- ・会場：日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）
- ・出場資格：1991年1月1日以降に出生したもの
- ・運営委員長：海老澤 敏
- ・審査委員長：堀米 ゆず子
- ・課題曲：協奏曲を中心に構成
- ・申込受付期間：2018年6月14日（木）～11月14日（水）
- ・審査構成：コンクールは予選、セミファイナルおよびファイナルの各審査段階で構成する。コンクールの出場者を決定するために、書類及び動画データまたはDVDによる予備審査を行う。
- ・オーケストラ：
【ヴァイオリン部門予選】
仙台フィルハーモニー管弦楽団と山形交響楽団によるオーケストラ
【セミファイナル、ファイナル】
仙台フィルハーモニー管弦楽団（指揮：高関 健）

◆課題曲

予選

2019年6月15日（土）～6月17日（月）
【独奏・オーケストラとの共演】

次の①②の両方を演奏する。

① 次の曲目から1曲を選択すること。

J.S.バッハ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 イ短調 BWV1041

J.S.バッハ：ヴァイオリン協奏曲 第2番 ホ長調 BWV1042

② 次の曲目から1曲を選択すること。

イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第3番 二短調 op.27-3

イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第5番 ト長調 op.27-5

イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第6番 ホ長調 op.27-6

セミファイナル

2019年6月21日（金）～6月23日（日）
【オーケストラとの共演】

次の①～③を演奏する。

① 次の曲目から1曲を選択すること。

ストラヴィンスキー：ヴァイオリン協奏曲 二調

プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 op.19

バルトーク：ヴァイオリン協奏曲 第2番 Sz112

② 次の曲目をオーケストラのコンサートマスターとして演奏する。

ブラームス：交響曲 第1番 ハ短調 op.68 から 第2楽章 の指定箇所

③ 次の曲目をオーケストラのコンサートマスターとして演奏する。

R.シュトラウス：交響詩「ツアラトウストラはこう語った」 op.30 の指定箇所

・②及び③の指定箇所については、予備審査通過者に連絡する。

ファイナル

2019年6月27日（木）～6月29日（土）
【オーケストラとの共演】

次の①②の両方を演奏する。

① 次の曲目から1曲を選択すること。

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲 変ロ長調 K207

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲 二長調 K211

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲 ト長調 K216

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲 二長調 K218

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲 イ長調 K219

② 次の曲目から1曲を選択すること。

ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.61

パガニーニ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 op.6

メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64

シューマン：ヴァイオリン協奏曲 二短調

ラロ：スペイン交響曲 二短調 op.21（全5楽章）

ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.77

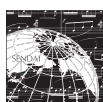
サン＝サーンス：ヴァイオリン協奏曲 第3番 口短調 op.61

ブルッフ：スコットランド幻想曲 op.46

チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35

ドヴォルザーク：ヴァイオリン協奏曲 イ短調 op.53

シベリウス：ヴァイオリン協奏曲 二短調 op.47



SENDAI
INTERNATIONAL
MUSIC
COMPETITION

■お問い合わせ先／公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: http://www.simc.jp/